

(様式3)

第7回 EST交通環境大賞 応募様式

審査の参考とするため、地域の交通環境対策の取組みについて、以下の項目をご記入下さい。

＜事業概要＞ 800字程度

応募する地域の交通環境対策の取組みについて、概要をご記入下さい。
※交通環境対策を実施している地区(市区町村以下)を必要に応じて明示して下さい。
※応募する対策に新規性や独創性があれば、その点も含めてご記入下さい。

である調で、文字数を
守り、注釈をよく読ん

〇〇県△△市XX区では、平成XX年より、地球温暖化防止に向けて区長のイニシアティブのもと、ESTプロジェクトが開始された。ESTプロジェクトでは、過度な自家用自動車の利用から公共交通の利用へ転換することを目的とし、コミュニティバスを区内で開通させつつ、区内の各世帯にエコドライブを普及推進させることとなった。当協議会は、エコドライブ講習会を3年間で合計7回開催し、合計1000名もの区民にエコドライブを講習、エコモ財団の認証を受けて、エコドライブ証書を手渡した。引き続き、低公害車を区内で普及させることも重要と考えたため、区内の自動車販売店を回り、トップランナー制度で上位車種を置いている販売店を把握、トップランナー制度や具体的な車種、区内のどこで対象となる自動車を購入できるかをまとめたパンフレットを作成し、1万枚を印刷、地域の新聞販売店からの協力を得て、無料で新聞に折り込むことが可能になり、各家庭に隈なく配布することができた。ESTプロジェクトが開始された直後、地域で開通したコミュニティバスの乗車人数は、30万名／年程度あり、順調な滑り出しをみせたものの、近年乗車人数が減少し、ピーク時の30%減の状況にある。この状況を改善するため、当協議会は△△市より委託を受け、TFPを実施することとなった。転入者を対象とし、バスマップを配り、公共交通を示した後、その地域における交通行動が定着する前(引っ越してから半年程度)に、TFPを実施し、自動車を使わないで移動する事ができることを理解していただき、公共交通利用転換を図ることに成功した。最後に、当協議会では地区ごとの公民館の駐輪場を活用し、レンタサイクル事業を実施している。公民館は住宅街にあり、レンタサイクルの事務は公民館の受付にお願いする形で事業を開始し、以前は自動車ですり街地まで買い物に出かけた主婦が、今では自転車で市街地まで移動し、公民館に戻った後、歩いて家まで帰る交通行動が定着し、自動車利用の削減に成功している。

【】、()、『』、「」及び番号①、②……
等で整理をした記載も可能です。

＜普及浸透＞ 400字程度

応募する地域の交通環境対策の取組みが、実施地域でどの程度普及・浸透しているか、明示して下さい。
※交通環境対策を実施している人数や実施している頻度など、できる限り定量的にご記入下さい。

【エコドライブ】

XX区では、瞬間燃費計を購入し、区内のドライバーのエコドライブ技術の水準を計測している。XX区のなかで、エコドライブ講習を受けたドライバーと受けていないドライバーの間で燃費を調べたところ、受講後1年以上経っても、受けていないドライバーよりも平均で10%程度燃費が良いことがわかっている。このことから、取組みが浸透していることが証明できる。

【低公害車パンフレット】

■■運輸局では、新車・中古車の登録をしているが、XX区の登録車種の平均燃費を調べたところ、〇〇県平均の燃費よりも20%もよい車種であることがわかっており、購入時にパンフレットを活用していることが伺える。また、△△市の登録車種の平均燃費を調べたところ、〇〇県平均の燃費よりも5%よいことがわかっており、XX区から情報が広がり、普及している。

【TFP】

転入者TFPを実施したところ、実施前、実施後で10%前後、自家用自動車による移動を削減することができた。TFPを実施した1年後に、フォローアップ調査をおこなっているが、移動手段が実施後とほとんど変わらないため、対策が定着していることがわかった。

【レンタサイクル】

現在3公民館で50台の貸出可能な自転車が存在するが、ほとんど常に貸し出しされている状態にあることから、地域の普及・定着が図られている。

<経済性>

400字程度

応募する各地域の交通環境対策の取組みについて、収支の概要(主な財源と総費用)をご記入下さい
※総費用の中で、環境改善に要した費用の算出が可能であれば、総費用とあわせて参考としてご記入下さい。

【財源】

(エコドライブ)

講習会費用等:講習会参加者から1,000円を徴収することで賄っている。

瞬間燃費計購入費:XX区一般会計

(低公害車パンフレット)

パンフレット印刷費:環境省XXX補助事業調査費

(TFP)

調査費:国土交通省XXX補助事業調査費

(レンタサイクル)

自転車購入費:△△市一般会計

【総費用】(うち、環境改善に要した費用)

(エコドライブ)

講習会費用等:10万円/回

瞬間燃費計購入費:100万円

(低公害車パンフレット)

パンフレット印刷費:125万円

(TFP)

調査費:250万円

(レンタサイクル)

自転車購入費:50万円

※本事業の人件費は、公民館の市職員及び本協議会ボランティアで賄っているため、特段の予算はない。

財源とかかった費用を、可能な範囲で箇条書きで整理し、記

<環境改善量>

400字程度

応募する地域の交通環境対策の取組みにおける、環境改善量を算出し、ご記入下さい。

※環境改善を示す指標としては、CO₂やNO_x・PM等の環境指標が望ましいですが、環境指標が難しい場合、過度な自家用自動車利用の削減や公共交通の利用増加等に関する指標でも応募は可能です。

※上記指標の単位は、削減された絶対量(例:t-CO₂/年、t-CO₂/回など)が望ましいですが、絶対量を算定することが困難な場合、削減率(例:%/年、%/回など)等でも応募は可能です。

【エコドライブ】

受講者による削減量:112t-CO₂/年

地域全体の削減量などではなく、で

CO₂削減量(t-CO₂/年) = 講習会受講人数(人) × ドライバー1人あたりの平均走行距離(km/年) × 平均車両燃費(g-CO₂/km) × 0.000001 × 削減率(%)

講習会受講人数:1000人(出典:講習会受講者名簿)

ドライバー1人あたりの平均走行距離:8000km/年(出典:■■運輸局・・・統計)

平均車両燃費:140 g-CO₂/km(出典:日本自動車工業会・・・)

削減率:10%(出典:XX区調査)

根拠として、簡単な算定式を記載

出典があれば、記載

【低公害車パンフレット】

XX区の登録車種の平均燃費の改善率:1%/年(出典:■■運輸局登録車両より算出)

△△市の登録車種の平均燃費の改善率:0.5%/年(出典:■■運輸局登録車両より算出)

【TFP】

調査参加者による削減量:170t-CO₂/年

CO₂削減量(t-CO₂/年) = △△市における自家用自動車の排出量(t-CO₂/年) ÷ △△市人口(人) × 調査参加者数(人) × 削減率(%)

△△市における自家用自動車の排出量(t-CO₂/年):30000t-CO₂/年(出典:△△市ホームページ)

△△市人口:15000人(出典:△△市ホームページ)

調査参加者:850人(出典:△△市調査)

削減率:10%(出典:△△市調査)

仮定があれば、その旨を記載してください。

【レンタサイクル】

自家用自動車の削減トリップ:15000トリップ/年

15000回/年自転車が貸し出されているため、その回数分、自家用自動車による主婦の買い物トリップが削減されたと仮定した。

<地域の持続性>

400字程度

交通環境対策を実施することで、対象となる地域において、副次的な効果として、①中心市街地の活性化等による地域経済への貢献や②地域の安全性の確保、市民の健康・福祉に向けた貢献等があれば、ご記入下さい。※①、②の両方を記載して下さい。

【①について】

レンタサイクル事業の開始によって、自動車であれば、大型ショッピングセンターと住宅街のみ行き来することになるが、自転車であれば、途中の地域商店街も経由する必要性が発生する。地域商店街もレンタサイクルの主婦を引き込むことを考え、「レンタサイクルで買い物に来た方」を対象に「商店街エコポイント制度」を開始した。この商店街エコポイントは、10ポイント溜まるごとに好きな商品を10%割引しており、商店街エコポイントを集める主婦が地域で増え、思わぬ経済効果を奏している。

【②について】

TFPやレンタサイクルによって、小学生の下校時間に公共交通を利用する方々が非常に増えている。夏季に集中して、人気のない地区で変質者の出没等による軽犯罪事件が毎年数件みられたが、公共交通利用者が増えたため、人気のない地区が減り、結果として軽犯罪の事件発生数が減少している。また、健康面では、公共交通の利用者増で、徒歩・自転車交通が増えた結果、サラリーマン層での肥満率が減少している。

最後に、配布している低公害車パンフレットにおいて、半ページを割いて、身体障害者も使い易い低公害車を紹介しており、結果として福祉車両が地域で増えている。

<各主体との適切な連携>

400字程度

交通環境対策を実施するにあたり、実施地域の自治体、交通事業者、地域住民やその他関連する団体等と適切に連携して対策を実施している場合は、その内容をご記入下さい。

まず、当評議会には、△△市とXX区の職員が参加しており、〇〇バス、△△タクシーといった交通事業者も参加している。エコドライブ講習会を開催するにあたって、まず、自己の環境意識に向き合うことを主催者側として期待していたことから、開催日前に、ニュースレターを配布し、運輸部門の地球温暖化対策と区長が推し進めるESTプロジェクトの認知を高める活動をおこなった。

××区のアンケートによると、区のESTプロジェクトをどうやって知ったのか伺ったところ、エコドライブ講習前のニュースレターという回答をおこなう区民が多く、その回答をおこなった区民に交通環境対策参加の意識調査をおこなったところ、積極的な回答が非常に増えていた。

△△タクシーからは、エコドライブ講習をおこなったお客様は、タクシー運転手のエコドライブ運転に対してコメントする方が多く、結果的に、タクシー運転手の運転技術の向上につながっていると聞いている。

<その他>

400字程度

近年の表彰歴などがあれば、ご記入下さい。

※表彰歴のある取組みについて、その表彰理由が本表彰制度のそれと重複していないことを事務局が確認いたします。(異なった理由であれば、表彰歴のある取組みも表彰の対象となります)

XX年に、〇〇県知事から環境配慮に努力している団体として、努力賞をいただいている。

本年、JCOMM賞に、TFP調査の内容で応募中。

応募中の内容も記

表彰された時期も

（様式３ 市民団体のみ）

奨励賞の審査の参考とするため、市民団体のみ以下の項目をご記入下さい。

＜団体設立年月＞

平成XX年

●月

＜団体の目的＞

当初、××区の地域交通計画を策定するため、区が協議会を設置した。地域交通計画を策定後、協議会が区から独立し、NPO法人エコ交通推進協議会をいう名前に替えて、地域の交通環境対策を普及推進するための団体として再スタートした。その後、XX区では、ESTプロジェクトが発足し、プロジェクトを補助する組織として、協議会への期待が高まり、区の交通と環境の課題に取り組むシンクタンクとして、団体の活動を推し進めている。

＜団体の沿革＞

平成XX年:XX区に前身となる協議会が設立

時系列で箇条書き
にしてください。

平成XX年:NPO法人エコ交通推進協議会が設立

平成XX年：協議会内にEST推進研究部を設置

現在に至る

＜団体の組織構成＞

協議会 会長 ●● ●●

できれば図示し、
分かり易く記載し

A部

B部

C部

EST推進研究部

研究員：交通絵子

＜団体の主たる活動実績＞

【調査活動】

【調査活動】
(地区交通計画関係)

実績ごとである
程度整理し、分
かり易く記載し

XX年:△△市委託調査で.....

(エコドライブ関係)

【講演活動】

XX年:.....シンポジウム開催

ホームページがない場合は空欄にし、団体のパンフレット等を参考として、郵送

【表彰曆】

＜団体のホームページアドレス（URL）＞

<http://www.xxx>